



# おおさか地域創造ファンド

Active Osaka Promotion Fund

## 平成 26 年度 豊能地域支援事業助成金 応募申請書作成ワンポイント講座 &公募説明会

豊能地域活性化推進協議会  
地域活性化コーディネーター 梅原清宏

### = Point =

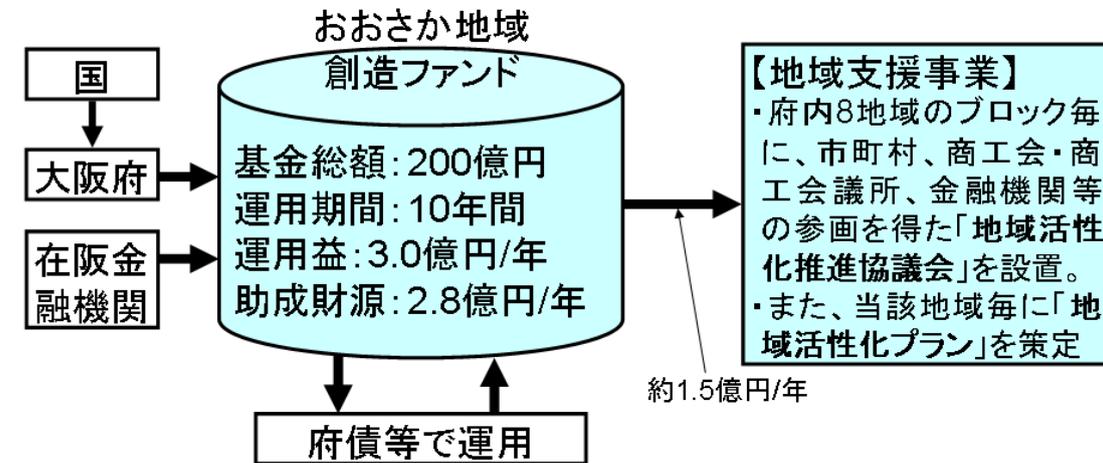
- 1) 助成金等で応援する新ビジネスを豊中市・池田市・箕面市・能勢町・豊能町で公募
- 2) 助成金の上限額・助成期間などについて ⇒ 1.5 (p.6~p.8) 参照

助成総額 (上限) 年度毎助成額 (上限)	助成率 1/2 以内	助成期間
1,000 万円/3 年 500 万円/年	支払いが完了している助成対象経費の 1/2 以内を、年度毎に後払い	1 年~3 年 平成 26 年 7 月から 最長平成 29 年 3 月まで

- 3) 助成金以外にも様々なメリット ⇒ 1.6 (p.8) 参照
- 4) 平成 19 年度から 33 事業を支援中 ⇒ 2. (p.8) 参照
- 5) 中小企業 (個人事業者)、創業予定者、NPO 法人等が応募可能 ⇒ 3. (p.10) 参照
- 6) 応募受付は、5 月 9 日 (金) から 20 日 (火) まで ⇒ 5.~7. (p.11) 参照
- 7) 事業計画書 (様式第 2 号) の書き方 ⇒ 8. (p.12~p.17) 参照
- 8) 応募申請書 (様式第 1 号) の書き方 ⇒ 9. (p.18) 参照

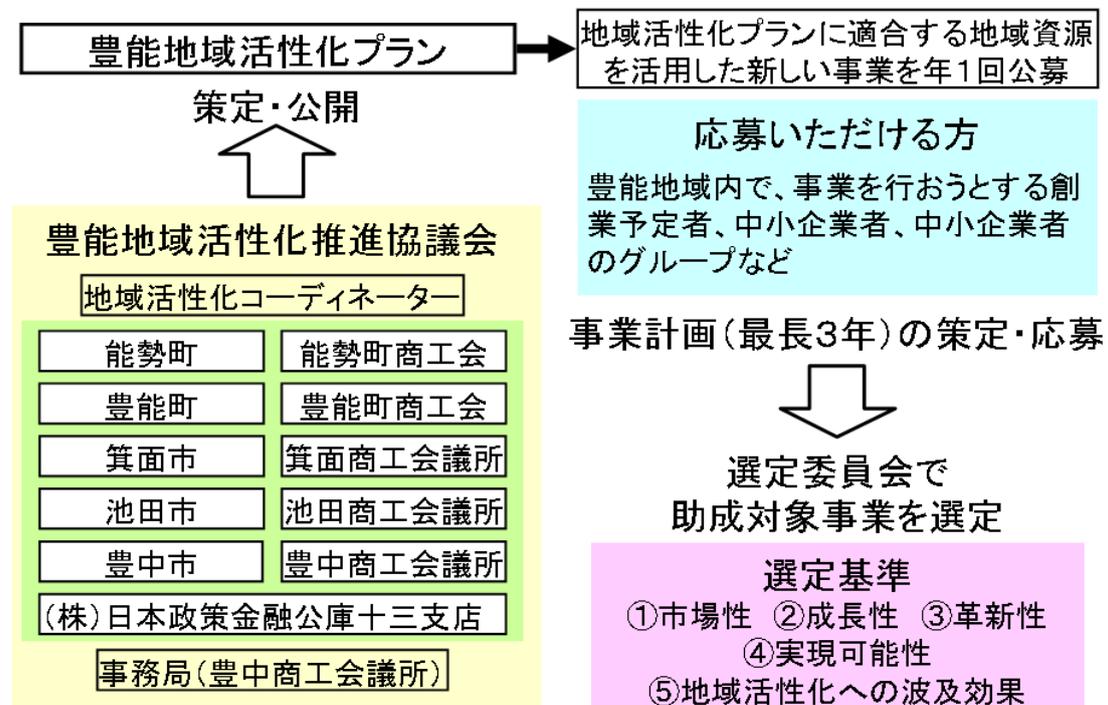
# 1. おおさか地域創造ファンドとは

## 1.1 全体の仕組み



つまり、200億円の基金を創設し、その運用益により地域の資源を活用した新しい事業に助成金を出すというもの

## 1.2 豊能地域の公募・選定の仕組み



## 1.3 豊能地域活性化プランの概要

### 1.3.1 豊能地域活性化の目標・方向性

自然・文化・歴史・まち・ものづくり技術等の  
多彩な魅力を活かした個性豊かな地域産業づくり

豊能地域では、地域間連携により各地域の強みを活かすとともに、地域の性格を形成する地域資源をさらに磨いて、地域の個性・魅力を向上させる地域産業創出が必要です。

そこで、ものづくりにおける新たな付加価値創出の可能性、豊富な農林資源を活用した新たな商品の開発の可能性、新たな集客産業の可能性、衣食住関連サービス・商品の開発の可能性を追求し、個性豊かな地域産業づくりを進めることとします。

### 1.3.2 豊能地域で公募する事業

- ① ものづくり技術や製品の活用・連携等による新たな展開等の事業
- ② 農林資源を活用した新商品開発等の事業
- ③ 観光歴史文化資源を活用した新たな集客やものづくりに関する事業
- ④ 地域住民の生活の質を改善向上させる衣食住関連サービス・商品の開発事業
- ⑤ 上記において、ブランド形成を図る事業、産学官連携による事業及び上記組み合わせによる事業

ただし、これらに該当しても、すでに収入を得ている事業や、機械装置等の購入の占める割合が多いなど設備投資が主たる事業とみなされる事業は助成対象となりません。

### 1.3.3 活用が期待される地域資源

ア. 重点的に支援すべき代表的地域資源

(ものづくり企業の集積) 機械・金属等のものづくり技術及び伝統工芸技術

(農林資源) 北摂山系の植木・栗等の農林資源および水資源

(観光歴史文化資源) 箕面国定公園及び周辺地域の自然、里山、街並、寺院等の観光資源、  
伝統文化及び関連施設

イ. 担い手としての地域資源

技術力・専門性の高い中堅・中小企業及び伝統工芸技術の伝承者、特色あるこだわりの個店のオーナー・シェフ・菓子職人など

ウ. 支援側としての地域資源

商工会・商工会議所、市役所、町役場、観光協会、とよなか起業・チャレンジセンター、地元金融機関、公共交通機関

エ. 今後の発掘や活用が期待される地域資源

大学発ベンチャー企業、技術力・専門性の高い中堅・中小企業、産業技術総合研究所や大阪大学、芸文系大学・専門学校等、様々な業種業界を網羅できる経験豊富なリタイア人材や芸術家、自然歴史文化観光ガイド等の人材資源

## 1.4 公募・選定の状況

図1 応募件数

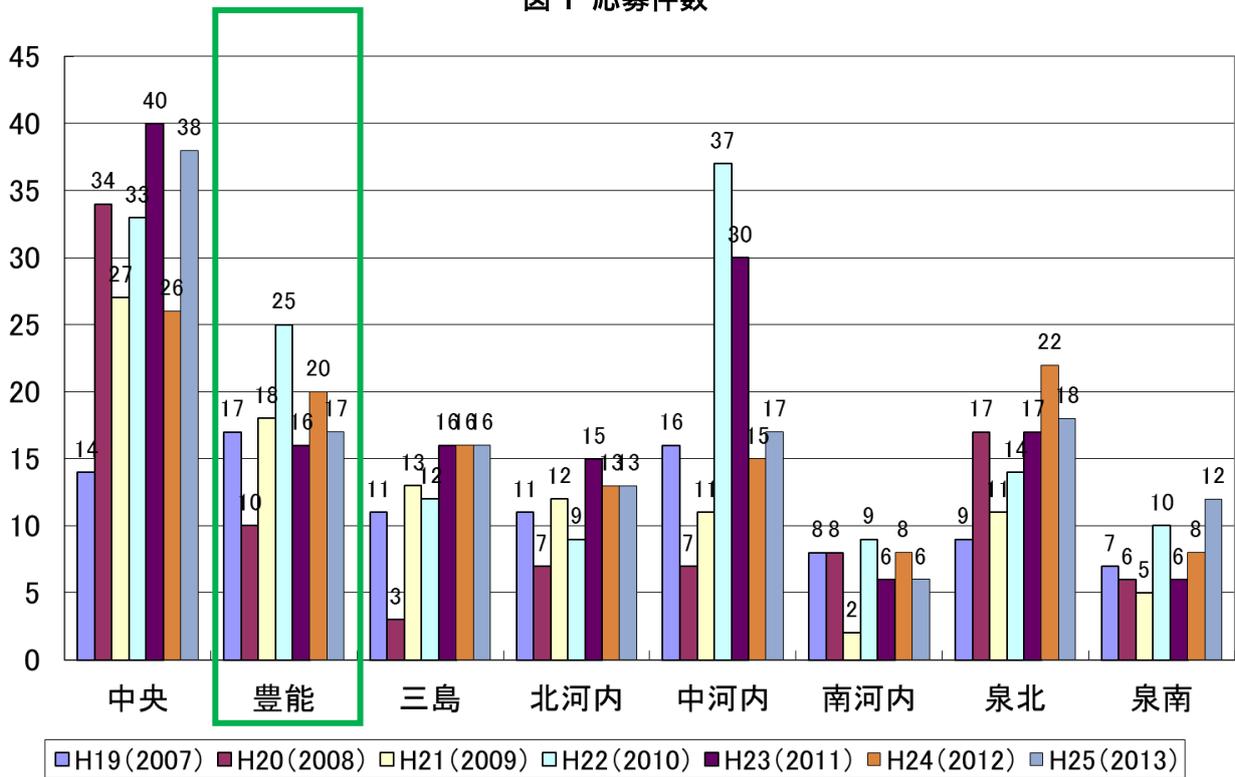


図2 市町別受付件数

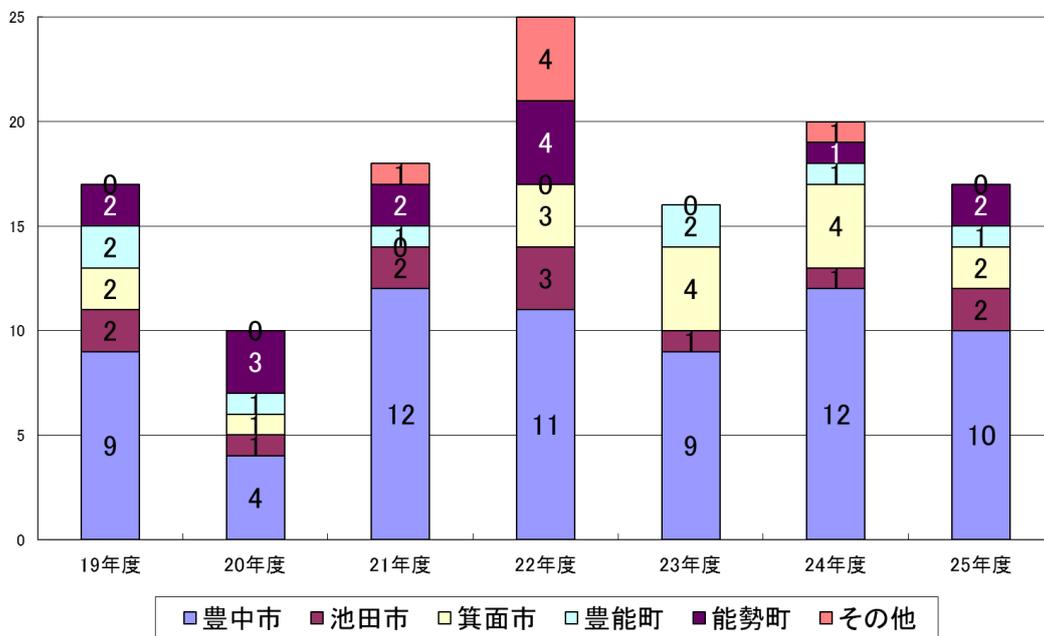


図3 選定件数

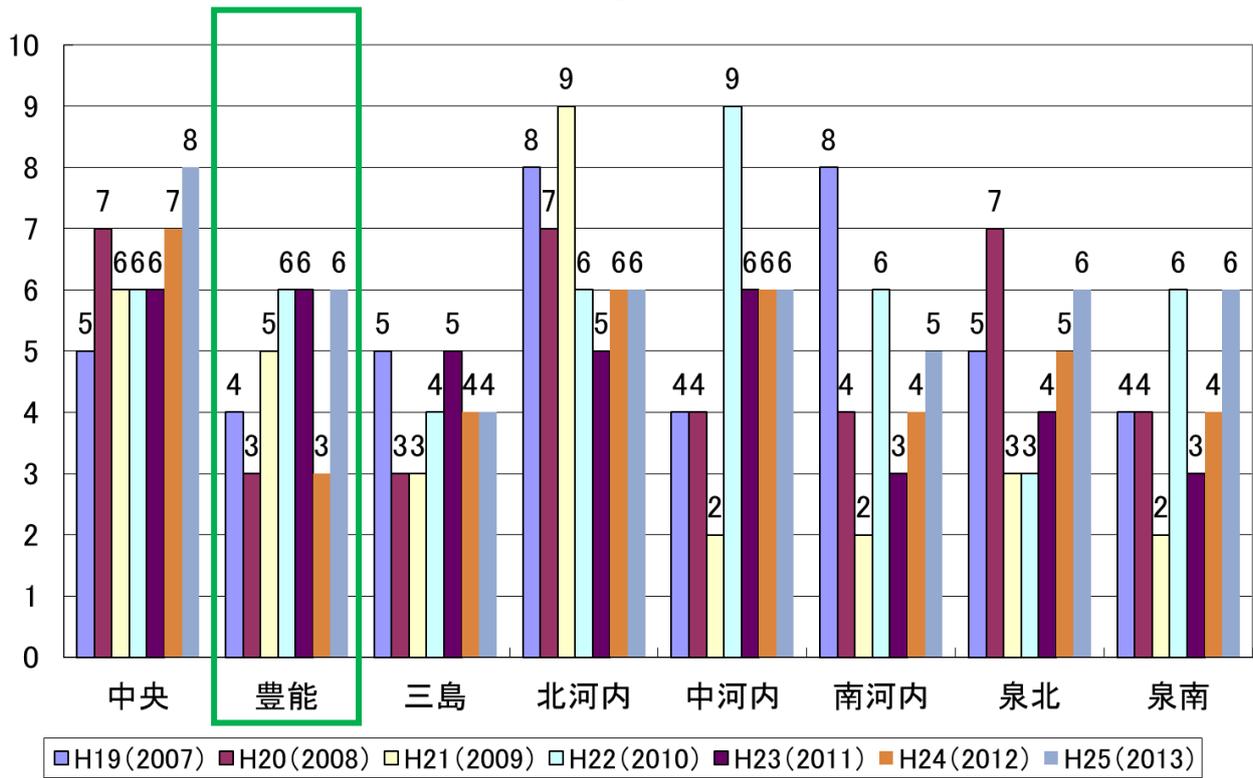
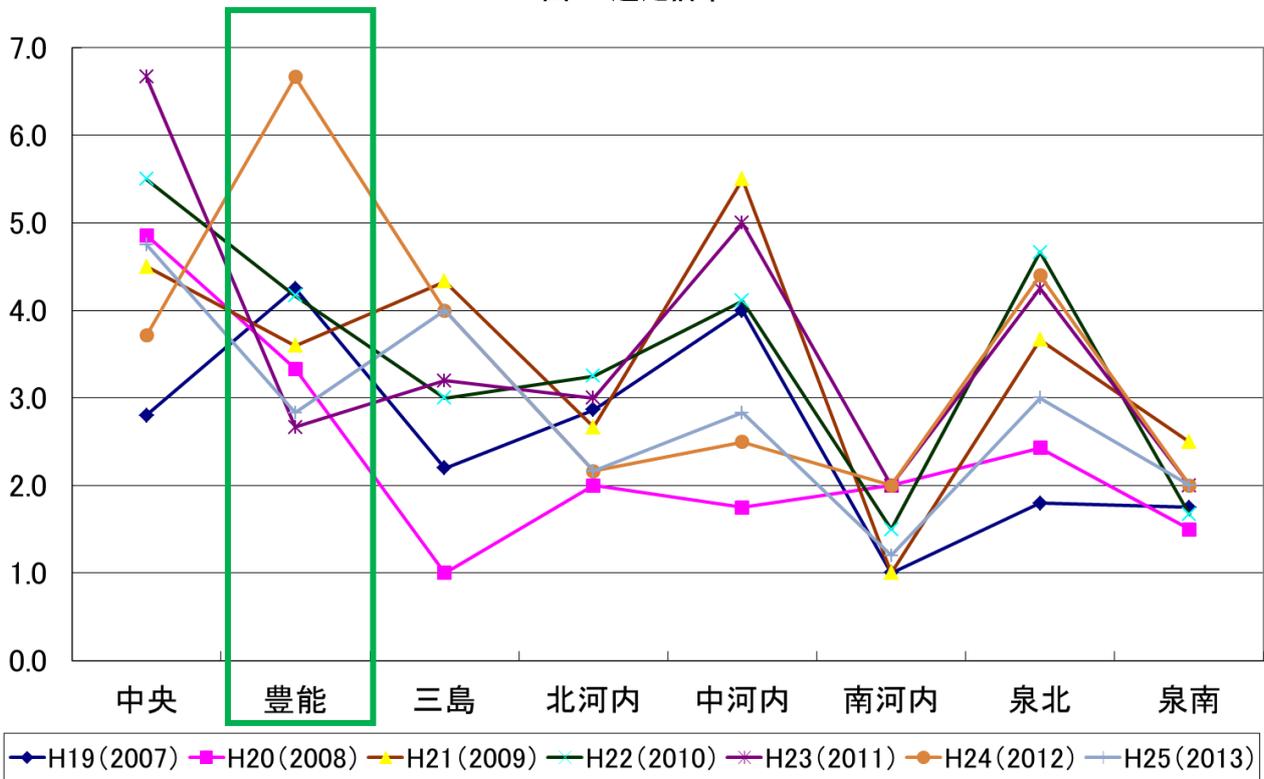


図4 選定倍率

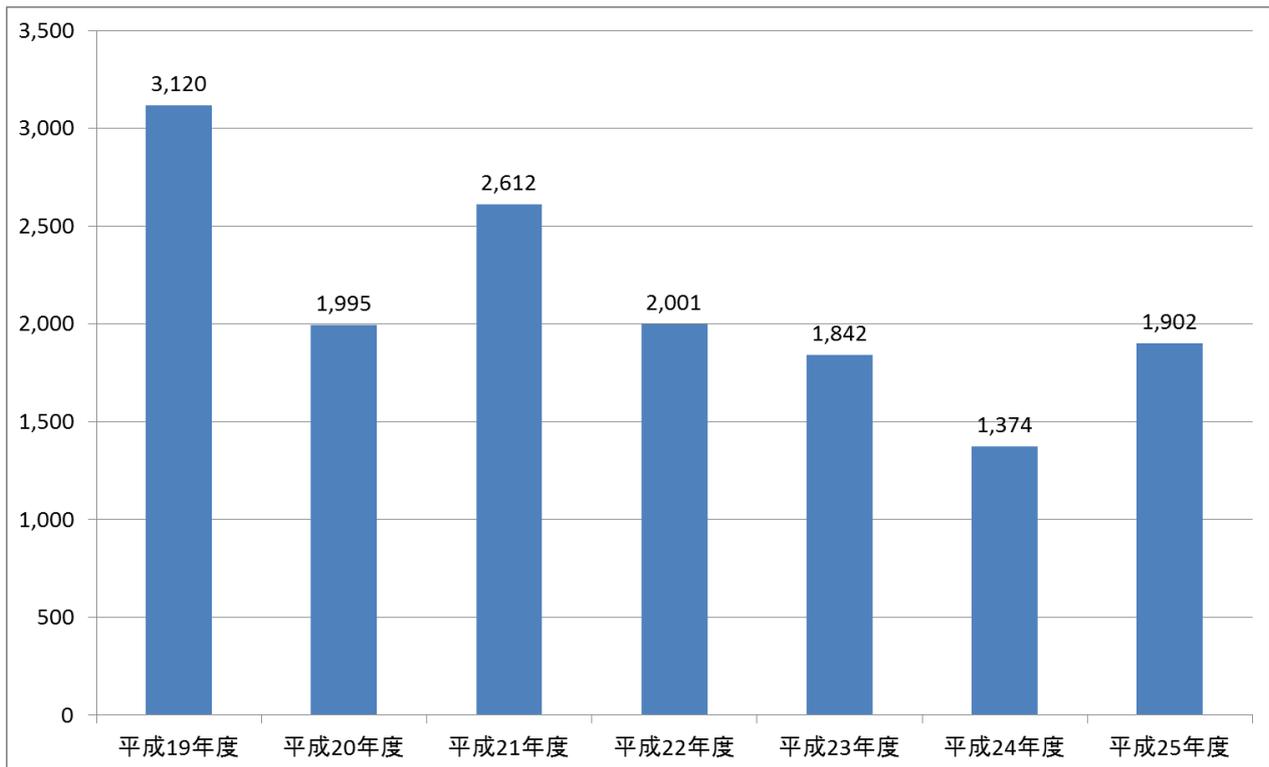


## 1.5 助成金について

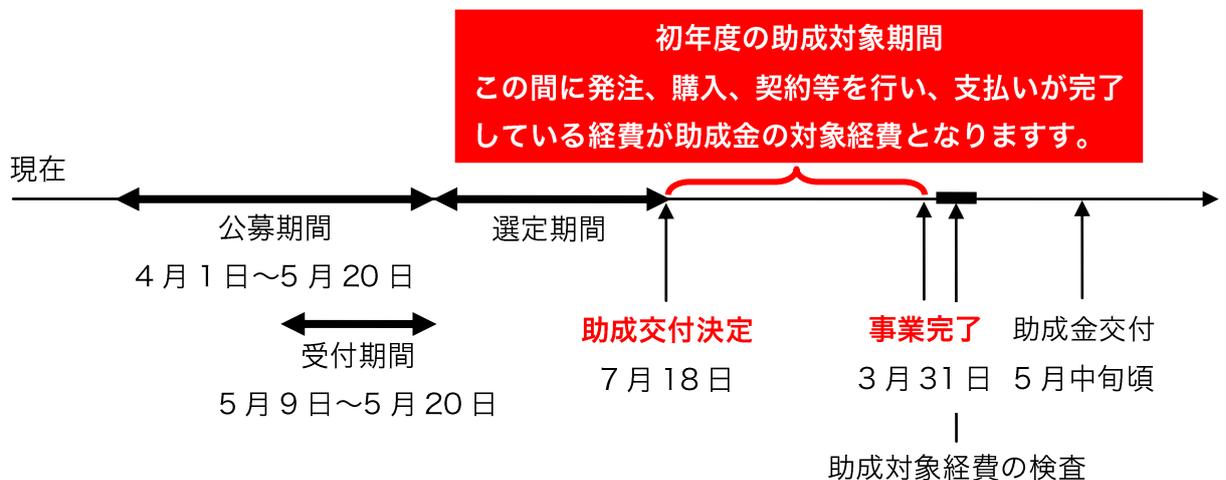
### 1.5.1 助成金の上限額・助成期間

助成総額（上限） 年度毎助成額（上限）	助成率 1/2 以内	助成期間 1年～3年
1,000万円/3年 500万円/年	支払いが完了している助成対象経費 の1/2以内を年度毎に後払い	平成26年7月から 最長平成29年3月まで

図5 平均助成金申請額（豊能地域）



### 1.5.2 助成金交付スケジュール（平成26年度予定）



※尚、2年目及び3年目の助成対象期間は、4月1日～3月31日となります。

### 1.5.3 助成対象経費

応募事業の実施に直接必要な経費として明確に区分できるもので、助成金交付決定以降に、発注、購入、契約等を行い、助成事業実施期間中に支払いが完了し、かつ証拠書類によって金額等が確認できる次に掲げる経費が対象となります。

ただし、人件費、借入れに伴う支払い利息、公租公課、不動産購入費、官公署に支払う手数料等、飲食・接待費、税務申告・決算書作成等のための税理士等に支払う費用、その他公的資金の使途として社会通念上、不適切と認められる費用は、対象外です。

事業区分	内 容
1.製品・技術開発	①調査研究費(市場調査・データ購入・調査分析等) ②専門家(講師)謝金・旅費 ③一部を委託する経費 ④原材料費(仕入れとみなされるものを除く) ⑤機械装置、工具器具又は簡易な建築物の購入、製造、改良、据付、借用、保守又は修繕に要する経費(汎用性が高く使用目的が特定できないもの、量産のための設備投資とみなされるものを除く) ⑥外注加工費、技術コンサルタント料、デザイン料、試作費、実験費、設計費、試験検査費、システム開発費(初期費用のみ) ⑦知的財産権の取得に要する弁理士等手続き代行費用(特許等登録料、審判費用、登録印紙代等を除く)
2.販路開拓	①調査研究費(市場調査・データ購入・調査分析等) ②専門家(講師)謝金・旅費 ③一部を委託する経費 ④展示会等の会場整備費、会場借料、出展料 ⑤広告宣伝費、ホームページ作成費
3.人材養成	①調査研究費(市場調査・データ購入・調査分析等) ②専門家(講師)謝金・旅費 ③一部を委託する経費 ④研修会等の会場整備費、会場借料 ⑤広告宣伝費、ホームページ作成費 ⑥研修費(受講料・原稿料等)
4.その他事業	事業の実施に直接必要な経費で上記に準ずるもの
5.事務費	①従事者旅費 ②会議費(お茶代)、会場借料、借損料、印刷製本費、資料購入費、通信運搬費、通訳料、翻訳料、保険料、消耗品費、備品購入費、雑役務費 ③短期的なアルバイト等の賃金・交通費 ④事業実施に必要な事務所・工場等の改装費(建替え、増築を除く)、賃借料、共益費(保証金、敷金、仲介手数料を除く) ⑤法人設立に要する司法書士等手続き代行費用

#### 1.5.4 助成金に関してよくあるご質問

- ① 助成金を前払いしてほしい。
- ② パソコン購入費を助成してほしい。
- ③ 金型代を助成してほしい。
- ④ 海外展示会に出展するため海外旅費を助成してほしい。

#### 1.6 おおさか地域創造ファンドに採択されるメリット

- ① 商工会議所、商工会をはじめ、豊能地域活性化推進協議会の支援（各種書類作成支援を含む）が無料で受けられる。
- ② ファンド採択事業者との交流を通じて、やる気のある事業者とのネットワークができる。
- ③ 大阪府や国の支援策を受けやすくなる。
- ④ 新規事業の資金（助成金）を調達できる。

#### 1.7 おおさか地域創造ファンドに採択された場合の義務

- ① 決められた書類を期日までに提出しなければならない（報告書等作成義務）
- ② 採択された事業は責任をもって遂行しなければならない（事業遂行義務）
- ③ 助成対象経費については、その用途をエビデンスにより明確にしなければならない。
- ④ 助成対象事業に関する書類、助成金で購入した物品等を長期間（事業終了後5年間）保管しなければならない。

## 2. 豊能地域の採択事業一覧（実施主体名は採択時）

年度	事業名	実施主体
25	顔料を原料としたアルマイト染色剤の開発と染色技術の開発・普及及び染色剤の販路開拓事業	(株)デーシー
	主婦クリエイターユニット「ドリمام」をプロデュースし、地域企業の商品価値をブラッシュアップするサービスの開発及び提供	(株)ディーラリエ
	豊能地域のものづくり企業が連携して新たに航空機産業等への参入を支援する事業	(一社)次世代型航空機部品供給ネットワーク
	能勢に都会から観光客を呼ぶ 能勢産農産物を加工食品に作り上げ、ブランド化を開発するプロジェクト	(株)住まい創造舎
	能勢黒若牛の肥育技術開発と6次産業化への取組み	中植牧場
	高精度3次元データを基図にしたトンネル維持管理支援システムの開発と普及	関西工事測量(株)

24	省エネで環境にやさしい『一液潤滑処理剤』の研究開発と販路開拓事業	貴和化学薬品(株)
	RTK-GPSと無線ネットワークによる、GPS メジャーの開発と販路開拓	長田電機(株)
	自然に恵まれた豊能地区の農産物と農業者を活かした食品の開発、販路開拓事業	(有)アトリエ笠井
23	東能勢地区の田園風景を生かした道の駅のカフェ&レストラン開発事業	(株)住まい創造舎
	コミュニティ創り及び委託栽培を通じた豊能町原木しいたけブランド化プロジェクト	(有)かめたに
	豊能地域の伝統工芸品・観光・物産を中国人旅行者をターゲットに情報発信する為の豊能地域ブランド発掘・開発支援コミュニティ活性化プラン	CJIBOX(株)
	豊能地域の小さな店舗や銀行、医院等で、子供同志が遊べる機能的でコンパクトなキッズコーナー「パタ☆ボン」シリーズの開発・販売	アートディスプレイ(株)
	豊能地域から産出される規格外品等の未利用農産物を、餃子の皮・具に利用することで、「おもしろぎょうざ」、「こだわりぎょうざ」を創出し地産地消の新明作品を作る事業	ブランケネーゼ(株)
	既製杭の中心が計れるシステム「TRINOS」の開発と販路開拓	関西工事測量(株)
22	アルミ資源を含んだ産業廃棄物(=アルミドロス)から、資源と産業廃棄物を分別処理回収し、『3R』を実現する小型装置の開発と販売	東進工業(株)
	ナガマドキノコバエ捕獲用補虫器の開発及び販路開拓	ユーテックス(有)
	豊能地域における有機物循環システムの開発と普及	(株)古嶋商店
	箕面市特産「ゆず」の精油と関連商品の開発及び販売	(有)re・make
	炭酸および果汁飲料製造技術を活用した全国ご当地サイダーの開発および普及事業	能勢酒造(株)
	豊中服部地域のまちづくりと商業地域活性化を「デザイン」を活用して支援する事業	CHICCA PHOTO DESIGN
21	介護ロボット便座の開発、製作及び販売	(株)岡田製作所
	大学等と連携した古代鍍金(鍍金)をベースとする高機能表面処理技法の確立と幅広い産業への普及	(株)谷尾
	豊能地域を中心とした「農商シェフ連携」による計画的生産・流通システム「AIR」の開発と普及	ドクター・オブ・ジ・アース(株)
	地場産大豆・地場資源及び地元ブランドによる納豆の製造	山口食品(株)
	豊能「行きつけ農村」のある暮らし創り	(有)eスローライフ
20	ステンレス加工技術と大阪の伝統工芸によるインテリアワイン遊具のブランド「和鶴(Tsuru)」戦略	(株)トミヅル工業
	能勢栗の摘果栗及び収穫時の栗外皮(イガ)の粉末加工と、製菓材料やミックス粉等への用途開発及び販路開拓	ブランケネーゼ(株)
	地元金型製造企業との連携による缶スプレー注入機の開発及び販路開拓	(株)インベイント
19	軽量で安価な「車椅子対応型仮設トイレ」及び「介護用簡易仮設トイレ」の開発並びに販路開拓	(株)フジアウテック
	木製根固め工の製品開発及び販売	中谷産業(株)
	釣竿型レジャー用水中カメラ(玩具)の開発	(有)ファーストシーン
	能勢の天然水等の地域資源を活かしたサイダー(桜川サイダー等)の開発及び製造販売	能勢酒造(株)

### 3. 応募できる方

- ① 現在事業を営んでいない方で、豊能地域において創業を予定されている方
- ② 豊能地域に主たる事業所等を有する中小企業者及び中小企業者のグループ
- ③ 中小企業者以外で豊能地域内において自ら事業を行う次の法人  
特定非営利活動法人、農事組合法人、国立大学法人・公立大学法人  
及び学校法人、社団法人・財団法人、商工会・商工会議所

ただし、次に該当する方は、応募すること、又は審査を受けることができません。

- ① 公的助成金であることから、社会通念上、助成金交付を受けるのにふさわしくない次の方は応募することができません。
  - ア. 直近3事業年度の法人税、消費税及び地方消費税を完納していないもの
  - イ. 地方税に係る徴収金を完納していないもの
  - ウ. 宗教活動や政治活動を目的にしているもの
  - エ. 暴力団員による不正な行為の防止等に関する法律第2条第2項に掲げる暴力団及びそれらの利益となる活動を行うもの
- ② 次の要件に該当する場合は、審査の対象から除外します。
  - ア. 提出書類に虚偽の記載があった場合
  - イ. 本要領に違反又は著しく逸脱した場合
  - ウ. その他、審査結果に影響を及ぼす恐れのある不正行為があった場合

### 4. 選定方法について

応募された事業を対象に、豊能地域助成事業選定委員会が、書類審査（一次選考）及び面接審査（プレゼンテーション）により行います。面接審査は、平成26年6月11日（水）に実施予定です。

審査基準については、平成26年度の公募要領の「9.選考方法(3)審査基準」には、次のようにあります。

審査は、次の基準に基づき総合的に行います。

- ①新規性・・・社会的、地域的に新しい取組みであるか。
- ②市場性・・・ニーズがあるか、又はニーズを掘り起こすことが可能か。市場自体に魅力があるか。
- ③成長性・・・今後、成長が期待される分野であるか。その中で事業拡大できるか。
- ④革新性・・・競合商品・サービスとの比較において、競争優位性のある特徴を持っているか。
- ⑤実現可能性・・・事業を実施する体制が構築されているか。資金調達力はあるか。
- ⑥地域活性化への波及効果・・・地域の中小企業への波及効果や、地域イメージの向上など、地域経済に好影響を与えうるか。地域として支援する意義があるか。

## 5. 申請に必要な書類（各1部）

申請に必要な書類は、下記の通りです。

申請書類等は、豊能地域活性化推進協議会（豊中商工会議所）の下記ホームページ（<http://www.ooaana.or.jp/aopf/>）からダウンロードできます。

様式	提出書類	提出区分	摘要
申請書 様式あり	応募申請書（様式第1号）	必須	忘れずに捺印して下さい。
	事業計画書（様式第2号）	必須	
	グループの概要（様式第3号）	グループ	グループ申請の場合のみ。
	代表者選定報告書（様式第4号）	グループ	グループ申請の場合のみ。
	誓約書（様式第5号）	必須	忘れずに捺印して下さい。
	応募することができないものに該当しない旨の申立書（様式T-1号）	必須	忘れずに捺印して下さい。
様式自由	補足説明資料	任意	様式自由、A4サイズで提出して下さい。
添付資料 (グループの場合、全員分)	法人の場合、登記簿謄本又は現在事項全部証明書（3ヶ月以内の原本）	いずれか 必須	
	個人の場合、印鑑証明書（3ヶ月以内の原本）		
	直近2期分の決算関係書類 ※直近決算月から半年以上経過している場合、直近の試算表も要	必須	創業予定者不要 決算期が2期に達していない場合は1期分
	確定申告書2期分（法人の場合は別表一のみで可能）コピー又は納税（課税）証明書原本	必須	申告書の場合、税務署受付印のあるもの。
	事業や法人を紹介するパンフレット等 組合等の場合は事業計画書・事業報告書	任意	

## 6. 提出先

豊能地域の下記商工会議所・商工会にご持参ください。郵送での受付はできません。

- 豊中商工会議所 豊中市岡町北1-1-2 TEL 06-6845-8006  
(豊能地域活性化推進協議会事務局)
- 池田商工会議所 池田市神田1-18-10 TEL 072-751-3344
- 箕面商工会議所 箕面市西小路3-2-30 TEL 072-721-1300
- 能勢町商工会 豊能郡能勢町大里142 TEL 072-734-0460
- 豊能町商工会 豊能郡豊能町余野1008 TEL 072-739-1647

## 7. 受付期間

平成26年5月9日（金）から平成26年5月20日（火）まで（土日除く）午前9時～午後5時です。

## 8. 事業計画書（様式第2号）の書き方とポイント

（応募様式第2号）

### 事業計画書

#### 1. 応募申請者の概要

個人又は 個人事業者	氏名 (屋号)	
	現住所	
	連絡先	TEL FAX E-mail
	創業予定者の場合の 創業予定日	平成 年 月
	創業予定者の場合の 創業形態	<input type="checkbox"/> 法人（出資金等 万円） <input type="checkbox"/> 個人事業
	事業の名称	
	事業所所在地 (予定)	
	予定従業員数	
	申請者略歴 職務経歴 業務経験、 能力、資格等	
法人又は グループ  ※グループの場合は 応募様式第3号 及び第4号を 添付してください	名称	豊能繊維株式会社
	代表者名	代表取締役 豊能 花子
	法人の住所	豊中市岡町北1-1-2 URL <a href="http://www.ooaana.or.jp/">http://www.ooaana.or.jp/</a>
	連絡先	連絡者名及び役職名 管理部長 豊能 太郎 TEL 06-6845-8006 FAX 06-6857-0474 E-mail <a href="mailto:toyo-cci@ooaana.or.jp">toyo-cci@ooaana.or.jp</a>
	資本総額	10,000千円
	主たる株主 及び出資割合	豊能 花子(40%) (株)地域創造ファンド(25%) 豊能 太郎(25%) その他個人2名(10%)
	従業員数	10人
	業種及び 事業概要	【衣料・その他の繊維製品製造業】 昭和54年に創業し、現在まで各種の〇〇製造・卸 売販売業者として、地域の発展に貢献してきました。

本業（主たる事業）について簡潔に記載する。

事業の名称は、非常に重要。この事業で何をめざすのか、目標とする事業成果がわかるような名称となるよう工夫する。

## 2. 応募事業の内容

①事業の名称	豊能地域の〇〇を素材とした新商品△△△の開発及び販路開拓
②事業の概要 ※ 400字程度で簡潔に記載してください。	豊能地域の〇〇は、地域特産品として有名です。この事業では、この〇〇を当社の〇〇技術を応用することで、繊維素材として活用します。この新繊維には、殺菌効果が見込まれ、これを使った新商品△△△を開発します。 新商品△△△は、殺菌効果を持った新素材であり、高齢者や要介護者が不自由を感じている□□□などで利用すると、利便性が飛躍的に向上します。 機能性を追及するだけでなく、豊能地域在住のファッションデザイナー□□××氏と協力し、機能性はもちろんおしゃれな新商品として、大阪府内をはじめ、全国の高齢者や要介護者をターゲットに販売します。 地域特産品〇〇を繊維素材として活用した例はなく、全国初の新素材として販路を開拓していくことで、豊能地域の〇〇の知名度を全国に知らしめるとともに、豊能地域内で新たな雇用を生み出すなどして地域を活性化させ、地域の発展に貢献していきます。
③事業の目的や必要性、期待される効果	〇〇には殺菌作用があることは古くから知られていますが、これを有効に活用する方法がありませんでした。そこで、当社の〇〇技術を活用して、殺菌作用もつ新素材に加工し、これを活用した新商品△△△を開発することを目的とします。 豊能地域の特産品である〇〇は、現状ではその一部が利用されているだけで、多くは未利用物として廃棄されています。かねてよりこの有効利用が叫ばれ、様々なチャレンジがなされたようですが、未だ有効な活用が見出されてはいないと聞いております。 この事業により〇〇の未利用部分を繊維の原料として利用できれば、地域資源である〇〇の価値が一層高まり、〇〇の生産量が増大することで、地域の活性化が期待されます。
④事業にチャレンジする経緯、動機、アピールポイント	豊能地域の特産品である〇〇の未利用部分の有効活用が課題となっていることを知り、当社の技術を活用したら繊維素材として活用できないかと考え、数年前より研究を続けてきました。昨年、〇〇大学の〇〇教授の指導により、〇〇からの繊維化に成功すると共に、この新素材が殺菌作用を持つことがわかりました。そこで、当社の〇〇技術と地域資源である〇〇を使った新商品△△△の開発を計画していたところ、おおさか地域創造ファンドの公募があることを知り応募しました。 当社が長年培ってきた技術力と豊富な人材には自信があり、地域資源〇〇の未利用部分を新たな分野で活用する新商品△△△は、これまでにない新素材として、〇〇に新たな活用の道を開き、その価値を高めるものと確信しています。
	チャレンジする経緯・動機は、比較的書きやすいので、長文になりがち。だから書かないように注意し、簡潔にまとめる。創業予定者の方は、過去に行っていた事業又は現在行っている他の事業、その他の過去の経験を記載の上、その経験を今後どのようにこの事業へ活かしていくのかを記入する。専門用語には注釈を加えるなどしてわかりやすく記入する。以下も同様。

重要！どのような地域資源を活用して、誰に、何を、どう提供するビジネスか、事業の全体像をイメージできるように記入する。他の項目を記入した後にそれらを要約して記入する。「ですます」体でも「である」体でもよいが、どちらかに統一する。

これで、378文字。400字前後でまとめる。

「目的や必要性」、「期待される効果」の両方を盛り込む。「目的は〇〇。必要性は〇〇、期待される効果は〇〇」と明示すると、何を書くべきかが意識しやすい。「ですます」体でも「である」体でもよいが、どちらかに統一する。以下の項目も同様。

チャレンジする経緯・動機は、比較的書きやすいので、長文になりがち。だから書かないように注意し、簡潔にまとめる。創業予定者の方は、過去に行っていた事業又は現在行っている他の事業、その他の過去の経験を記載の上、その経験を今後どのようにこの事業へ活かしていくのかを記入する。専門用語には注釈を加えるなどしてわかりやすく記入する。以下も同様。

⑤顧客及び市場及び製品（商品）・サービスの内容・提供方法、特徴・優位性

新商品△△△は、大阪府内をはじめ全国の高齢者や要介護者をターゲットにします。高齢者や要介護者が困っている〇〇の状況において、〇〇の殺菌作用をもつ新素材を効果的に活用できるからです。また、機能性だけでなく、ファッションデザイナー□□××氏のデザイン力と当社の縫製技術により今までにない斬新なスタイル（意匠登録予定）に上げることが可能であり、従来の素材商品と比較しても、機能性とデザインの面で競争優位性があります。

販路は、従来の販路を活用した卸とインターネット販売の両方で開拓します。

店舗販売においては、地元の道の駅等からスタートし、徐々に取り扱い店舗を増やしていきます。また、インターネット販売では、ネットからの注文できるシステムを導入し、高齢者が読者層である雑誌への広告出稿等によりホームページへのアクセス数を増加させることで、売上の増大に努めます。

誰に（顧客・市場）、何を（製品・商品・サービスの内容）、どのように提供して、売上や収益をあげるつもりか、できるだけ具体的に記入する。関連する特許、実用新案、商標等の知的財産権の出願（予定）や取得（予定）があれば記入する。

⑥新規性、革新性、成長性の自己評価

※自社・他社を含め、旧来の商品・サービス等との違い、類似・競合事例の有無について、できるだけ詳しく具体的に記載すること。

〇〇の殺菌作用を活用した繊維は、これまで開発されていません。また、他の繊維を活用した商品として、▲▲▲や□□□などがありますが、今回開発する新商品△△△は、繊維そのものが殺菌作用を持ち、その効果の持続性も高いため、従来商品に比べて優位性があります。また、特殊なデザインを当社保有の縫製技術で実現するため、今までにないスタイルの商品となり、競争優位性があります。

高齢化の進展に伴い、ターゲットとする高齢者・要介護者は、増加していきます。また、将来的には、日本だけでなく、同様に高齢化が進む中国を中心としたアジア諸国への販路開拓も見込めます。

従来の商品・製品・サービスと比較してどのような点に新規性や革新性があり、競争優位性が確保できるかについて記入する。「今までにない商品」という表現は、「市場調査が不十分」あるいは「市場性がない＝売れない」と判断される場合がある。競合についてはよく調査すること。

成長性については、市場規模（ターゲット人口、市場売上高等）や成長率（年〇%増等）など、数値を盛り込むことができれば、説得力が増す。しっかり調査して盛り込むとよい。

⑦事業の実施体制（内部の実施体制、外部との連携体制、事業に必要な経営資源の状況など）

本事業は、社長直轄のプロジェクトとし、管理部長を事業専従者として、早期に新商品の開発及び販路の開拓ができるよう全社をあげて取り組みます。

〇〇の殺菌作用をもつ新素材については、かねてより指導を受けている〇〇大学の〇〇教授にも参画いただき、機能性（殺菌力）の客観的なデータを整備していきます。

また、新商品のデザインは、豊能地域在住のファッションデザイナー□□××氏に委託し、デザイン面での特徴の強化をはかります。

ネット販売システムは、地域のシステム会社に外部委託すると共に、運用管理責任者を社内で育成します。

事業資金は、自己資金及び一部を借入金で充当します。借り入れについては、当社のメインバンクである〇〇信用金庫〇〇支店より必要額の融資の内諾を得ています。

社内では、誰をリーダーとして、どのような体制で取り組むのか、具体的に記入する。連携先企業、研究機関、支援者などの社外協力者がある場合には、その名称とどのような役割を担当してもらうのか記入する。

⑧許認可等の規制の有無  
なし。

事業を行うにあたって関係する主な法規制と、その申請や許認可の状況、課題などについて記入する。許認可事業なのに、この欄にその記載がない場合、調査不足、準備不足とみなされ、書類審査時のマイナスポイントとなるので、要注意。

⑨地域活性化への波及効果  
地域資源である〇〇の未利用部分を繊維として活用した新商品△△△を開発し、販路を拡大していくことで、〇〇の新たな有効活用の道を開き、〇〇の価値を高め、豊能地域の活性化及び地域内における雇用の促進が期待されます。  
また、デザインや情報システムの構築において、豊能地域の優秀なデザイナーやソフトウェアと連携することで、地域の人的資源の活用を促し、地域のデザイン力やシステム開発力の向上に寄与します。

この事業を行うことの豊能地域にとっての意義、豊能地域のイメージ向上への貢献、豊能地域内での連携、豊能地域の中小企業への波及効果等について記入する。「自社が儲かる」ことは当然であるが、税金を使う助成金なので、「公益」的な効果について、必ず記入しておくこと。

⑩補助金の交付を受けた実績 ※平成26年度中に申請（予定を含む）する補助金も記載してください。  
補助金名：平成25年大阪府〇〇〇〇事業費補助金  
金額：7,000千円 指令NO：平成〇年〇月〇日 大阪府〇号

過去に助成金を受けた事業と同じ事業では申請できない。また、同じ事業で公的な助成金を重ねて受けることはできない。同じ事業で複数の助成金に申請し、複数採択された場合には、いずれか一つの助成金しか受けられない。

いつ頃から売上が発生するのか、計画全体と整合するように記入する。初年度から売上が発生しても問題はない。ただし、売上高目標と実績が大きく乖離すると、次年度以降の助成金継続審査において不利になる場合があるので、実現可能と思える数字とする。

3. 新事業にかかる経営計画

(千円)

	26年 7月 ~27年 3月	27年 4月 ~28年 3月	28年 4月 ~29年 3月	29年 4月 ~30年 3月
①売上高	0	5,000	40,000	100,000
②売上原価	0	4,000	20,500	32,500
③売上総利益 (①-②)	0	1,000	19,500	67,500
④販売費及び 一般管理費	5,000	5,000	10,000	20,000
⑤営業利益 (③-④)	-5,000	-4,000	9,500	47,500
⑥売上高内訳		△△ : @10×500	△△ : @10 1,000 ▲▲ : @5	▲@20×5,000

※ グループ内での売上高を記載してください。  
※ ⑥売上高内訳は、販売先等の具体的な内容を記載してください。

売上高は、その根拠を売上高内訳の欄に記入する。販売費及び一般管理費には、この事業を実施するために必要な、売上原価以外のすべての費用の見積もり額を記入する。販売費及び一般管理費に含まれる人件費等は助成対象経費にならない。一般的には、販売費及び一般管理費の一部が助成対象経費となる。

事業計画が1年、2年、3年いずれの場合でも、向こう4年間の売上高等の推移を記入する。これにより、この事業が最終的にどのくらいの規模のビジネスになるかの目安となる。売上高の多い少ないより事業として継続的に一定の収益（営業利益がマイナスでないこと）を得られるかどうかが大切である。

助成期間全体の事業の実施計画を作成する。各年度に何を達成するのか（たとえば、1年間は試作品完成、2年目は販路開拓、3年目は量産化等）を明確にする。2年目、3年目が同じ内容の単純な繰り返しにならないよう注意する。実施内容を実行するために必要な経費の一部が助成対象経費となる。

4. 応募事業の実施計画（事業完了日までのスケジュール）

年度	時期(年月)	実施内容
26年度	26年7月	社内〇〇〇〇チームの立ち上げ
	8月	専門家による新商品についてのアドバイス
	10月	マーケティングを行い、商品のニーズの把握
		新商品のデザイン契約
	27年1月	機械装置の購入
		試作品の完成
	2月	広告媒体を使っての新商品PR
3月	新商品の生産開始	
27年度	27年4月	営業社員の増員
	5月	大阪府内の展示会に出展する
	7月	新たに機械装置を導入し、量産体制を確立
	11月	ネットでの受注を可能にするシステムの構築
		東京での展示会に出展する
	12月	大阪での展示会に出展する
		専門家による新商品の次期モデルについてのアドバイス
28年2月	コスト削減にむけての組織体制見直し	
	次期モデルの試作品完成	
28年度	28年4月	営業社員の増員
	5月	大阪での展示会に出展する
	6月	次期モデルの量産体制を確立
	11月	広告媒体を使っての次期モデルPR
		東京での展示会に出展する
	29年2月	大阪での展示会に出展する

汎用品、量産のための設備投資は助成対象外。

初期費用のみ。運用費は助成対象外。

事業費(A)欄には、「3.新事業にかかる経営計画」の「④販売費及び一般管理費」の金額を記入する。平成26年度の助成対象経費(B)欄、(C)欄には、「6.助成対象経費の内訳」の「助成対象経費」合計額と「助成金交付希望額」合計額をそれぞれ記入する。平成27年度以降は、見込み額を記入する。

5. 資金計画

(千円)

年度	事業費 (A)	助成対象経費 (B)	助成金交付希望額 (C)	自己資金額 (調達方法) (D)
26年度	5,000	4,000	2,000	2,000 (銀行借入) 1,000 (自己資金)
27年度	5,000	4,000	2,000	3,000 (自己資金)
28年度	10,000	2,000	1,000	9,000 (自己資金)
合計	20,000	10,000	5,000	15,000

※ (A) = (C) + (D)、(C) = (B) × 円未満切捨て) となるように

助成対象経費(B)の1/2を助成金交付希望額(C)に記載する。自己資金額(D)は、(A)-(C)の金額を記載する。

平成27年度以降の助成金交付希望額は、採択後に増額変更できない。上記の場合だと、平成27年度に申請できる助成金は2,000千円、28年度は1,000千円が上限となる。自己資金額は、実際に調達できる範囲内であることが重要。

「4.応募事業の実施計画」の内容と整合させる。助成対象経費の金額の根拠を説明できるようにしておく。助成対象経費として明記されていないものは、助成金の対象とはならない（採択後、変更申請により認められる場合はある）。記載する内容には、ある程度の確からしさが不可欠である。各費用について見積もりを取ることまでは求めないが、自己資金（借入金を含む）で購入したり支払ったりするのだから、大きな金額のものについては、事前に調査しておくべきである。

助成対象経費は、消費税抜きの金額を記載。

助成金交付希望額は、助成対象経費の1/2の金額を記載する。

#### 6. 助成対象経費の内訳（平成26年度分）

事業区分	内 容	助成対象経費 (円)	助成金交付 希望額 (円)
1. 製品・技術 開発	②専門家謝金（新商品開発アドバイス） @54,000×10回=540,000	500,000	250,000
	⑥一部を委託する経費（外注加工費） =864,000	800,000	400,000
	④原材料費（試作品製作） =540,000	500,000	250,000
	⑥デザイン料 =799,200	740,000	370,000
	【区分小計】	2,540,000	1,270,000
2. 販路開拓	①調査研究費（市場調査費用） =540,000	500,000	250,000
	⑤広告宣伝費（雑誌「〇〇〇〇」掲載料） @172,800×6回=1,036,800	960,000	480,000
	【区分小計】	1,460,000	730,000
3. 人材養成	①②などは、「公募要領」の「6.助成対象経費」の事業区分ごとの内容の番号である。		
	【区分小計】		
4. その他事業			
	【区分小計】		
5. 事務費			
	【区分小計】		
合 計		4,000 千円	2,000 千円

※ 助成金交付希望額は、事業区分毎の助成対象経費に助成率を乗じた額を限度とします。また、合計欄については、事業区分の額を合算した額で、千円未満を切り捨てた額とします。

※ 助成対象経費、助成金交付希望額の合計は、「5. 資金計画」の当該年度分(B)、(C)欄と一致させて下さい。

## 9. 応募申請書（様式第1号）の書き方とポイント

（応募様式第1号）

平成26年 5月20日

豊中商工会議所 会頭 國貞 眞司 様  
（豊能地域活性化推進協議会事務局）

提出日とする。

登記簿謄本（法人の場合）、印鑑  
証明書（個人の場合）に記載され  
ている住所を記入する。

住 所 豊中市岡町北1-1-2  
名 称 豊能繊維株式会社  
代表者名 代表取締役 豊能 花子 印

平成26年度 おおさか地域創造ファンド  
豊能地域支援事業助成金 応募申請書

会社（個人）の実  
印で捺印する。

標記助成金について下記のとおり応募申請いたします。

記

### 1 助成事業の目的及び内容

別添 事業計画書（応募様式第2号）のとおり

### 2 応募事業及び実施主体の区分

応募事業の区分		実施主体の区分	
①	地場産業の技術・製品を活用した事業	②	中小企業者

※事業区分は公募要領3. (1)の①～⑥、実施主体は4. の①～③について、それぞれ番号とその内容を記入。[例] ④地域人材を活用した事業、②中小

(1)には、様式2(事業計画書)「5.資金計画」の26年度の助成対象経費(B)の金額を、(2)には、同じく26年度の(C)の金額を記入する。

(3)には「5.資金計画」の27年度以降の(B)の金額の合計を、(4)には同じく27年度以降の(C)の金額の合計を記入する。

### 3 助成対象経費及び助成金交付希望額

(1)	平成26年度 助成対象経費	金	4,000,000円
(2)	平成26年度 助成金交付希望額	金	2,000,000円
(3)	平成27年度以降の助成対象経費	金	6,000,000円
(4)	平成27年度以降の助成金交付希望額	金	3,000,000円

4 平成26年度助成事業完了予定日 平成27年 3月31日

5 最終助成事業完了予定日 平成29年 3月31日

1年計画なら平成27年、2年計画は28年、最長3年計画は29年となる。いずれも、月日は3月31日とする。

## 10. アイデア検討シート（参考）

おおさか地域創造ファンドへのご応募をお考えの方は、地元商工会議所・商工会にお気軽にご相談ください。その際、下記のシートを利用するなどして、ビジネスアイデアをまとめておくと、より具体的なアドバイスが受けられます。

1.実施主体・応募予定者		
2.具体的な事業内容 何をしますか？		
3.事業を実施する動機・目的		
4.事業の実施予定地		
5.事業の実施体制（連携先など）		
6.大まかな実施計画 いつ頃どういった ことを行いますか？	1年目	
	2年目	
	3年目	
7.事業実施に必要な 資金（見積額）	1年目	千円
	2年目	千円
	3年目	千円
8.事業の成果（売上 見込み額）	1年目	千円
	2年目	千円
	3年目	千円
9.助成対象経費として考えてい る主な内容と金額		千円
		千円
		千円

※書ける範囲でご記入ください。尚、相談にこのシートは必須ではありません。

## 11. 今後のご相談対応について

応募に関するご相談は、豊中商工会議所もしくは提出先の商工会議所・商工会で対応していただきます。お気軽にご相談ください。

- 豊中商工会議所 豊中市岡町北1-1-2 TEL 06-6845-8006  
(豊能地域活性化推進協議会事務局)
- 池田商工会議所 池田市神田1-18-10 TEL 072-751-3344
- 箕面商工会議所 箕面市西小路3-2-30 TEL 072-721-1300
- 能勢町商工会 豊能郡能勢町大里142 TEL 072-734-0460
- 豊能町商工会 豊能郡豊能町余野1008 TEL 072-739-1647

## 12. 参考ホームページ

### 12.1 豊能地域活性化推進協議会（豊中商工会議所）

豊能地域の事務局が運営するページ。申請書類等はこのホームページからダウンロードできます。応募に関する個別相談の申し込みもできます。

<http://www.oaana.or.jp/aopf/>

### 12.2 おおさか地域創造ファンド 地域支援事業

地域支援事業の実施主体である財団法人大阪産業振興機構のファンド関連ページ。全地域の採択事業の詳細をみることができます。各地域の活性化推進協議会へもリンクしてあります。他地域の情報を知りたいときに便利です。

<http://www.mydome.jp/aopf/region.html>

### 12.3 豊能地域活性化コーディネーターのブログ

公募に関する情報や採択事業者の活躍状況などを情報発信しています。

<http://aopf.biz/>